

トークサロンこの1年 特集

今回の会報では、ネットワーク委員会の手で開催された「トークサロン」を振り返ります。トークサロンは市民と市民をつなぐ市民会議らしいユニークな試みです。どの会も個性的な議論が行われました。こういう意義深い会のことは是非会員の皆さんにもお知らせしたいと思います。来年度こそ是非ご参加を！！

今年のトークサロン一覧

	開催日	テーマ
第21回	6月28日(土)	合併しても藤野は藤野～藤野に暮らして…極めて私的藤野論
第22回	7月19日(土)	自然環境市民団体の現状
第23回	9月27日(土)	企業の社会貢献～ブック・オフの場合
第24回	10月24日(金)	「次世代育成支援行動計画」を知っていますか？
第25回	12月6日(土)	多文化について考える～市内在住の留学生と交流します
第26回	2月7日(土)	地域を拓く学生ボランティア～相模原を舞台に活躍する学生達
第27回	2月28日(土)	ペットボトルのキャップを集め、地球に愛を、子どもに愛を

※ほかに第28回も開催されました。

第21回 (参加者15名)

開催場所 さがみはら市民活動サポートセンター会議室

参加人数 ゲスト2人、一般 5人、会員 8人

多くの芸術家が住み、シュタイナー学園のあるまち「藤野」…あなたは「藤野」ときいてどんな事を思いかべますか？今回は日々折々の思いを藤野在住のお二人から伺いました。

「未だに相模原市という住所にかなりの違和感を持ちながら暮らしています」といわれる写真家の三宅さんと、NP法人藤野里山クラブ代表の永井さんをゲストに迎えました。

三宅さんの写真からは、谷間から立ち昇る朝霧の様子や、藤野のかけがえの無い自然そして代々継がれてきた季節の地域のまつりごと等等など貴重な生活の様子を伺いました。

「里山クラブ」の永井さんからは、地域に根ざした沢山の活動が伺える様なパンフレットからの説明を戴きました。又

地域コミュニティー出来ているからこそ「水道管理小屋」等のライフラインが維持されていた…と思われませんが、合併前後の行政に依る対応の違いは否応なく合併が市民生活に及ぼす影響の大きさを階間見る事となりました。

話を伺いながら「地域の特性を大切に生かす」…今一番必要な事と思われました。「新市」の様子は継続的に取り上げて行きたいテーマです。

第22回 (参加者18名)

開催場所 相模原市立環境情報センター 学習室

参加人数 ゲスト8人、一般6人、会員 4人

相模原市の自然環境の保全を図る活動をしている9団体に声をかけ、その中の5団体がゲストとして参加しました。参加者は18人で、活発に意見交換行いました。参加したゲスト団体はそれぞれ独自の分野で、活発に活動している団体が多く、課題もそれぞれ異なるため、共通のテーマについての意見交換という部分では不十分でした。

しかし、一般の参加者からは、ゲスト団体から有意義な話しが聞けて、活動を続けて行く事の大変さ、苦勞、悩みが少しわかったような気がした等の感想がありました。また、これから活動しようとする団体や課題を抱えている団体に対して、既に活発に活動している団体からアドバイスがあり、有意義な情報交換の場となりました。

第23回 (参加者8名)

開催場所 横浜弁護士会相模原支部会館 3階会議室

参加人数 ゲスト3人、一般 3人、会員 5人



「企業の社会貢献」…最近よく耳にするようになった言葉ですが、その内容は企業によって様々とのようです。そこで、本企画では市内に本部を構える『ブック・オフ』をゲストに迎え、企業理念「捨てない」を推進するための事業本体、および、それに伴い取り組みが始まった社会貢献(アジア、アフリカ諸国への本の寄付を行う団体への支援)の内容についてじっくり伺いました。

残念ながら参加者は少なかったものの、新たな協働事業に向けて市民団体と企業が話し合える場を作るのはどうかという提案もあるなど、熱心な質問や発言が多くあり、充実したフリートークとなりました。市民活動を推進していく上

ではネットワーク作りが必須ですが、今後もトークサロンを通じてこのような場が持てるように更に企画を練りたいと思います。

第24回 (参加者7名)

開催場所 けやき会館4階中会議室

参加人数 ゲスト2人、一般 2人、会員 5人

相模原市子ども育成課職員と相模原市社協ファミリーサポートセンター職員をゲストに迎え、本市の「次世代育成支援行動計画」の内容と、それを実現するための1つの事業であるファミリーサポート事業についてお話を伺いました。

一般の参加者は非常に少なかったのですが、地域で子どもと遊ぶボランティアをしている方と学童保育に携わる方であり、フリートークではお2人からそれぞれの地域のボランティアの活動の様子を伺うことができました。ファミリーサポート事業が利用しづらい(利用料が高い)という状況の人もいるのではないかと、異なったニーズに応えるサービスも構築すべきではないかと、そのためには地域のボランティアをもっと活用できるはずという意見にはゲストも熱心に耳を傾けていました。

市民の声が行政に届けられるいい機会になったのではと思われま。また、すでに行われている地域での活動が、行政との協働でより良い事業に実を結ぶことを期待しつつ、会員からは参加の皆さんに今年度から始まった協働事業の情報もお伝えしました。

第25回 (参加者8名)

開催場所 けやき体育館2階和室

参加人数 ゲスト 3人、一般 3人、学生 1人、会員 4人

予定したゲストのうち1人が出席できず3人(韓国、中国、スリランカ)となったが、3人とも話題が豊富で、日本に留学しようと思ったきっかけや、そのことに対する周囲の反応、実際に日本に来ての印象などを皆さん流暢な日本語で披露されました。留学だけでなく、日系の企業に就職したいという希望を持つ方もいて、「もっと上のレベルの日本語を身につけたい。」という発言もあり、その向上心に感心すると同時に、国は違っても未来を担う若者を応援したいと思いました。

参加者も積極的に発言する人が多く、生活面からそれぞれの国の政治に関することまで話は盛り上がり、楽しい交流になりました。毎回、「国政交流」は外国人に日本についての話を聞くという形をとっているのですが、今回のゲストから「日本人は外国人のことをどう見ているのか知りたい。」という意見もあり、更なる交流を重ねたいと思いました。

第26回 (参加者31名)

開催場所 相模原市民会館2階 第1中会議室

参加人数 ゲスト6人、一般7人、学生 18人、会員6人

これから社会へ旅立ちの為の勉強で忙しい学生たちが、熱い気持ちを持ってボランティア活動をしているのは、どうしてボランティアをやろうと思ったか、始めた結果は、地域との関わり方等を、3つの学生サークルに発表して貰いま

した。



会の進行などをゲストの学生に任せ、主体的に進めてもらう事でリラックスした雰囲気となり、途中でゲームを

入れたり、緊張して硬くなりがちな学生から 色々なお話を引き出す事が出来た、各サークルの活動発表は、高齢者福祉、障害を持つ子ども達への関り、小学校低学年児童との触れ合

い等で、今一番手を貸して欲しい所へ出かけて行って触れ合っている事はほんとうに素晴らしい、自分達が喜びを感じながら活動している事が伝わってきました、参加者からも積極的な発言が得られ、又、学生達のサークルを超えた交流や参加者との交流も見られました。



第27回 (参加者12名)

開催場所 さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加人数 ゲスト 2人、一般 5人、会員 5人

NPO 法人(内閣府認証)エコキャップ推進協会とエコキャップ相模原を招き、「エコキャップ運動」についての現状の取り組み、今後の可能性など、参加者の質問も合わせて話が深まりましたが、時間が足りずに相模原市での取り組みについて十分話が聞くことができず、具体的に収集拠点(公民館・学校・店舗等)がどこで、その後どういう流れで回収されているか、また、作業所のかかわり等、聞けず残念でした。

店舗に回収箱は置きにくい(法的問題)などの現状の課題をふまえ、今後は、行政との連携も視野に入れる必要もありそうです。参加者には埼玉県から来た人もいた。アンケート結果からは今後積極的にかかわりたいという感想もあり、ネットワークの広がりが期待できました。

いかがでしょうか、トークサロンって、結構内容豊富、バラエティに富んでいるとは思いませんか? いろんな人達がここで、新しい出会いを見つけ、少しでも連携の輪が広がることを期待しています。これからは、その後のフォローもできるといいですね。 (T. N.)